7	平成	22	年度	事務	事業	評価シート	(平成 21	年度実施	<b></b> 事業)	整理番号	都建01				
事	務事業	業名	建築管理	事業				会計	1一般会8土木費	計					
総:								省							
合	まちづ の目標		5 信頼	に基づく	市民	とともにつく	るまち	科	I I (A) 7/4 H						
4	から 信 施策 (領		0 /元日士	小黑岩											
計上			3 行財	政運営				事業	11 建築管理						
	施策の <b>望する</b> 記							作成部署	都市開発部建築	<b>於住宅課</b>					
			· 何を)					連絡先 072 - 958 - 1111 内線 2263							
業	市有建						X24470	0.2 000 111	1 1/1/2/	2200					
ഥ∟		- ,	いう状態にしたいのか)												
$\vdash$						そった工事の	管理を行う.	0							
# 4		とを管理している所管課の依頼にそった工事の設計、施工管理を行う。 三度の主な事業としては、													
事業		工事 小中学校屋体耐震工事3件、その他													
の	設計	小口	字仪仪告	耐農診	斯・夫	施設計14件、	<b></b>	爻計1件、そ	この他						
内容															
	lle .	A 4-				LL & A- +									
柜	拠法令	音等	羽曳野市	公営住宅			1. t. > 4		$uh \rightarrow t$	<del></del>	<del></del>				
事	業開始	時期	田 昭和 平成	年開	開始 「		わからない (昭和34年)以	前上は行っ	終了な	年度 平成	年度				
事業	開始時	から	1	いら改修	<u>L</u> 主体に変				を受け、以前よ	り設計にかかる	手間が増え				
の状	況変化	;	ている。		>										
市民 望	や議会	の要													
	実施手	法	□ 直営		√ - ‡	部委託 □	全部委託	✓ 補助金	・助成金 <b>「</b>	] その他(	)				
			=	<b>邓</b> 団体委託			)								
									ラル /出ニール ラー・エキ なか かかっ	<del>///-</del> <del>///-</del>					
	委託分	L	✓ 民間望	委託		□その他		委託内容	設備設計積算等第	業務					
	安記力		✓ 民間委			20年度	21年度	22年度			・リコスト				
車架		区	☑ 民間到	分	( <b>.</b> )		(実績)	22年度 (見込み)	2,000,000	業務 活動単位当た	- リコスト				
事業	美費【1	区	✓ 民間名		(千円)		<b>(実績)</b> 1,625	22年度 (見込み) 1,78	2,000,000		:りコスト				
	美費【1 ‡費【2	区 ]	☑ 民間犯		(千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500	(実績) 1,625 32,562	22年度 (見込み) 1,78 37,36	2,000,000 84 62 1,500,000		・りコスト				
人件		区 】 ?】 見職員				20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人	(実績) 1,625 32,562 3.50 人	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50	2,000,000 84 62 人		:りコスト				
人件	養 【1	区 ]				20年度 (実績) 1,727 13,500	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50	2,000,000 84 62 人		- りコスト				
人件	養 【1	区 】 別 見職員 壬用職				20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00	2,000,000 84 62 人		- りコスト				
人件 ]	養費【1 +費【2 正再嘱臨過 過	区】 見職職員 話職員 務(参	<b>員</b>			20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00	2,000,000 84 62 1,500,000 人 人 人 人 人		:りコスト				
人件 ]	達費【1 注費 【2 其一 工 再 嘱 區 過 費	区 】 見職員 任用職員 持職員 務(	<b>員</b>		(千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00 2.88 0.00	2,000,000 84 62 人 人 人 人 人		22(目標)				
人件	達費【12 注費【2 其一再属臨勤費 工具属臨勤費	区】	<b>二</b> 員 考)	分	(時間) (千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00	2,000,000 84 62 1,500,000 人 人 人 人 人 0	活動単位当た					
人件	大学 大	区 】 別職用職員員参 (【1】	<b>二</b> 員 考)	分	( <b>千円</b> ) (時間) ( <b>千円</b> ) ( <b>千円</b> )	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00	2,000,000 84 62 1,500,000 人 人 人 人 人 0 0	活動単位当た	22(目標)				
人件	大学 大	区】 現職用職職員 参 ( 【1)	<b>考</b> ) +【2】)	分 (A)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00	2,000,000 84 62 1,500,000 人 人 人 人 人 0	活動単位当た	22(目標)				
人件	大きり では できます は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	区 】 見野田職職 日野職員員参 (【1】	<b>二</b> 員 考)	分 (A)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 章	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 9 46 0 0 0	活動単位当た	22(目標)				
人件	大きり では できます できます できます できます は できます は できます は できます は できます まま しん は は は は は は は は は は は は は は は は は は	区 】 別職用職職 (【1】 (【1】	<b>考</b> ) +【2】)	分 (A) 使用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0 34,187	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 章	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 500,000 0 0 0 0 0 46	活動単位当た	22(目標)				
人件。	大きり では できます は できます できます できます は できます は できます は できます は できます は できます は しょう は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	区】現無用職職(世界) 世界 1 世	<b>考</b> ) +【2】)	分 (A) 使用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227 0 0 0 15,227 20年度	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 39,14 22年度(目标	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 500,000 0 0 0 0 0 0 0 80	活動単位当た	22(目標)				
人件	大きり では できます は できます で	区 】 見 見 見 見 明 用 職 用 職 員 し し し し り し り り り り り り り り り り り り り	考) +【2】) (手数料・例 D活動実績	分 (A) 使用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円)	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0 34,187 21年度	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 39,14 22年度(目标	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 500,000 0 0 0 0 0 46 80	活動単位当た	22(目標)				
人件	大きり では できます は できます できます できます は できます は できます は できます は できます は できます は しょう は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	区 】 見 見 見 見 明 用 職 用 職 員 し し し し り し り り り り り り り り り り り り り	考) +【2】) (手数料・例 D活動実績	分 (A) 使用料等)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227 0 0 0 15,227 20年度	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0 34,187 21年度	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 39,14 22年度(目标	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 500,000 0 0 0 0 0 0 0 0	活動単位当た	22(目標)				
人件       総       活       ①       3       3       3	大きり では できます は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	区 】 現氏 田	考) +【2】) (手数料・例 D活動実績 文	分 (A) 使用料等) (i) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227 0 0 0 15,227 20年度	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0 34,187 21年度	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 39,14 22年度(目标	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 60 0 0 0 0 0 0 0 46 票) 60 21	活動単位当た	22(目標)				
人件 総 活 ① ② ③ 活 動	大きり では できます は できます で	区 】 現氏 田	考) +【2】) (手数料・例 D活動実績 文	分 (A) 使用料等) (i) 【B】	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227 0 0 0 15,227 20年度	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0 34,187 21年度 28 20	22年度 (見込み) 1,78 37,36 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 39,14 22年度(目標 1,864,095	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 500,000 60 0 0 0 0 0 46 票) 21 5	活動単位当た	22(目標)				
人 総 活 ① ② ③ 話 市	大きり では できます は で は で は で は で は で は で は で は で は で は	区 】 現氏 田	考) +【2】) (手数料・例 D活動実績 文	分 (A) 使用料等) (B)	(時間) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円) (千円	20年度 (実績) 1,727 13,500 1.80 人 0.00 人 0.00 人 152.00 時間 15,227 0 0 0 15,227 20年度 21 4	(実績) 1,625 32,562 3.50 人 2.00 人 0.88 人 0.00 人 185.00 時間 34,187 0 0 34,187 21年度 28 20	22年度 (見込み) 1,78 37,30 3.50 2.00 2.88 0.00 185.00 39,14 22年度(目标	2,000,000 84 62 1,500,000 1,000,000 500,000 500,000 0 0 0 0 0 0 0 0	活動単位当た 20 21 成果指標	22(目標)				

	-		指標名	単位	指標設定の考え方		平成20年度	平成21年	丰度	平成22年度
_15	事業目的	1	依頼に対する対応率	%		目標	100	100	達成率(%)	100
成果北	の 達 成		(式) 実施件数÷依頼件数	×100		実 績	100	100	100.0%	
指標	度を測る	<b>②</b>				目標			達成率(%)	
	指標)	<b>(</b>	(式)			実績				

	市		市の関与が必要な理由										評価				
の関与の必要			1 2 3 4 5 6							7 8		9	必要性	分析・評価の説明			
			令上 養務	が不特 定多数	最低限 の生活 水準を 確保	市民の 不安を 解消	社会的 経済的 弱者を 対象	民間だ けでは 負担しき れない	民間だ けでは 供給不 足	市の 色 市 へ発	を 外 :	第三者 にも受 益があ る	有	有建築物の建築・営繕が 事業の内容であることか ら、市有建築物を利用す る市民が受益者とする と、必要な事業と考えら			
	性			0										れる。			
	視点		分析のためのチェック点								はい いいえ ixi at						
		市民	市民ニーズが高い									民が利用する市有建築物の改修が業務の					
		市民	市民ニーズに比較してサービスの供給過剰となっていない									主体である為、市民ニーズが高い。又、最 低限の改修となっている為サービスの供給					
		社会	社会情勢の変化に対応している									限の改修となっている為サービスの供給 剰とはなっていない。市有建築物の耐震					
	妥当性	性 他市	他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない								ı II.₹	事につい	ハては他戸	†の状況と比較しても遅			
		国・原	存の事	業と重複し	ていない				<b>2</b>			れ気味の為、対象範囲を見直す必要がな い。					
		事業	を休」	止、廃止した	≿場合の影	響度が大き	٤١١		<b>V</b>		Ī						
		緊急	性が	認められる					回口	╗	Ī						
		単位	コスト	が適切では	5る(経年、	他市比較な	<b>ょ</b> ど)		<b>V</b>	TIT	他i	市と比	較して、美	業務量に対する人員の数			
		受益	者負	担の割合は	適当である	3					は	多い方	ではない。	老朽化が進行している			
		人員	を削え	 咸する余地	がない				<u> </u>	516	煙	楽物かる	多く、改作	多業務が増える中で人員 る余地はなく、今後省力			
分析	効率性	事業	費を	 削減する余	地がない					計一			さか減りな				
析	<b>刻</b> 平1	<u> </u>		きる方法や		\				3 -	֓֞֟֓֞֓֞֓֓֓֓֓֓֟֓֓֓֓֟֓֓֓֓֓֟֓֓֓֓֓֓֓֓֓֟֓֓֓֓֓֡֓֓֡֓֡֓֡֓֡֓֡֓֡֓֡֓֡֡֡֓֡֓֡֡֓֡	C   / ( )	, 0,2,5,				
· 章平		市の	他事	業と重複し <sup>・</sup>	ていない						i						
評価				(民間委託 余地がない		ランティア、I	PFIなど)の	活用につい									
		上位	の施	策(目的)か	「明確である	3			<b>1</b>	╗	市	有建築物	物の改修な	が主な業務である為業務			
		上位	上位の施策(目的)への貢献度が高い事業である								の	目的は	明確である	5.			
	有効性	成果	を向.	上させる余り					3 6	i							
		市民	の視	点にたって <sup>・</sup>	提供されて	いる		<u> </u>		Ī							
		事業	の企	画、立案に	市民が参加	している					業は	の実施に	こあたりぇ	近隣への説明会や案内文			
	I de les la	事業	の実	施に向けて	、市民と情	報の共有な	が図られて	いる		計画		を配布する事で情報の共有が図られてい					
	協働性	事業	の実	施について	積極的にす	民の意見	を反映して	いる	<u> </u>	計画	る。	0					
		事業	事業の実施について積極的に市民の意見を反映している 事業の実施に市民の参加、協力が得られている								Ī						
		成果	指標	の目標値は	適正である	5			V		- ■ 依頼された業務については全て実施してい						
	達成原	成果	成果指標の実績値は目標値以上である								る。	o o					
		成果	指標	は前年度よ	り向上して	いる			<u> </u>								
	総	合評個	Fi .														
				<b>-</b>	1			<u> </u>	24 // .			<b>一</b> 4台 .1.					
			√∠.	允美	」 現状維	≦持 ✓	万法改善	善	宮化・氏	间委計	t L	□ 稲小	· □ §	隆止·休止 □ 完了			
		価の理	曲														
7	当 部 有	油筑/	than O	<b>骨絲業</b> 發	ダの名く	け かく	っての新	筑から建	扶 冰	美車名	とがに	由心レデ	なってキュ	ており 丁重類リトには			
		<sup>・</sup> 建築物の営繕業務の多くは、かつての新築から建替、 <sup>・</sup> 職員の業務量が増えてきており、今後各課からの依頼															
1	平										<u> </u>						
1	_		後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)											hard and a lander of the land			
														気監理への切替えや、技 から、事務の継承を行			
				規職員の				(, 40	イン / O/T	1/1°-/E	十匹	2400 亿 亿	2 - 2 - 2	かり、事物の極外で打			
		合額的								編選	1						
ž	k [	】拡大:充実 ■ 現状維持 ■ 方法改善															
70	III																
i i		」 民営	【民営化・思質委託 ■ 縮小 ■ 廃止・休止 ■						完了								